

令和元年度 弘前市市民後見人フォローアップ研修②

No	1.「成年被後見人等との意思疎通(実践的方法と演習)」		2.事例検討		3.研修全体について
	自己評価	感想等	自己評価	感想等	
1	よくわかった	意思疎通にはいろいろな方法があるとわかりました。	よくわかった	具体的事例を出していただいたのでその対応についてよくわかりました。	研修の参加者が減少しつつあります。研修の内容を具体的に文章化して説明していただければ後見人も参加しやすいのではないかと思います。いつも研修会を開催していただき、ありがとうございます。
2	よくわかった	未記入	だいたいわかった	未記入	今までこういった研修を受けた経験がなかったので、大体理解できてよかったです。
3	よくわかった	被後見人が失語症患者なので、大変参考になりました。	だいたいわかった	未記入	具体的でよかったです。
4	あまりわからなかった	わからないというよりも、難しかったです。	だいたいわかった	未記入	今回の研修は難しかったです。短く簡単な文で本人に話し掛けても、会話自体が不可能で理解してもらえない場合が多いので、勉強すればするほどに意思疎通の困難さを感じます。今後遠くない未来、本人に終末医療等の意思を確認する時、どうすべきか迷うところです。
5	あまりわからなかった	未記入	未記入	未記入	未記入
6	よくわかった	特に3つの障害者(認知症、先天性知的障害、失語症)に対するコミュニケーションの図り方の説明もよかったです。被後見人の立場で考えて、優しく、簡単に置き換えて伝えていくことが大切だとわかった。	だいたいわかった	言葉で伝えること、単語を1つ1つ区切ることで、単純化して会話する必要がある。文章を複雑化せず簡潔にし、相手の反応を見る。	研修資料も整っており、毎回ありがとうございます。法改正についてもその都度説明する必要があり、助かります。今後の課題として死後事務についても研修の無いように追加して欲しい。
7	だいたいわかった	コミュニケーションをとる際に、それを著しく阻害するのが認知症、先天性知的障害、失語症なのだとわかりました。資料はどれもわかりやすくできてよかったです。今後コミュニケーションをとる際、今回で得たものを活用していきたいです。大変丁寧な講義でわかりやすかったです。	だいたいわかった	様式シート等での説明で最新情報を把握でき、よい資料でした。	定期的に研修を開催していただき、大変参考になります。支援センターを中心に、今後ともお世話になります。研修は同期生と顔を合わせる機会でもあり、大変よいと思います。また参加したいです。
8	よくわかった	普段言語聴覚士の話聞ける機会がなかったので今回は聞いてよかったです。実際、被後見人とのコミュニケーションで役に立つとまではいきませんが。	よくわかった	未記入	未記入
9	よくわかった	文を短文に分解してわかりやすい形にすること、言葉での伝達は情報量が多いこと、ティッシュを使って本人が音を聞けるか確認することを知った。	よくわかった	診断書と本人情報シートを一緒に提出することで、本人の容態が後見か保佐か、判断しやすくなったこと。	最新情報はとてもありがたかったです。
10	よくわかった	わかりやすい講義で参考になりました。	よくわかった	未記入	未記入
11	だいたいわかった	演習を受講したことで、言葉の大切さをより感じた。	あまりわからなかった	後で興味しながら読みたいと思います。	中身の濃い研修だったと思います。
12	だいたいわかった	失語症患者は平仮名を認識し難く、コミュニケーションをとる際は、漢字の扱い方を配慮する必要がある等、新しい知識を吸収できました。新しいことを覚えるために、違った方面からの状況判断についても取り上げて欲しい。	だいたいわかった	意思決定能力について、本人に判断能力があるものの、本人の感情が強すぎて、本人が「家で生活したい」と希望した時等、チームで検討できるので安心しました。	定期的に研修を開催していただけるので、再認識できる内容が多くて助かります。
13	よくわかった	文章を短文にすることが難しかったです。でも研修で学んだことを日々の業務に活かせるようにしたいと思います。勉強になりました。	だいたいわかった	未記入	未記入
14	よくわかった	実際、先生の現場の具体的な方法について、参考になった。難しい文章をわかりやすく簡単にする技術がよかったです。普段の生活にも活かせると感じた。	よくわかった	診断書の作成についての話が参考になった。本人情報シートを初めて見た。家庭裁判所や医師の情報の繋がりを有効に利用したい。	未記入
15	よくわかった	今回の研修で専門家の意見を聞くことが大切だとわかり、STの方と積極的に関わりたいと思いました。	よくわかった	本人情報シートが新しい資料として導入されたこと、意思決定支援のガイドライン、地域連携ネットワークの役割を知ることができました。今後実践でそれを活かしたいと思います。	初めて知ることがたくさんありました。今後も、研修に参加して、勉強していきたいです。
16	だいたいわかった	未記入	未記入	未記入	地域連携ネットワークで、利用者の要望がわかるような形式にして欲しい。
17	あまりわからなかった	未記入	あまりわからなかった	未記入	コミュニケーションの取り方が複雑でした。
18	だいたいわかった	認知症と失語症のメカニズム等を含めて違い等がわかりやすかったです。ただ、白坂先生が仰ったように、脳の機能、精神科分野における疾患への取組み、対応については、人によって異なるのではないかと、という印象があります。	未記入	未記入	また参加したいです。
19	だいたいわかった	わかりやすく伝えることに関して、改めて難しいと思った。	だいたいわかった	本人を支えることに関して、チームプレーにおいて、それぞれ役割を持ち、情報を共有し合ったりする等、数年前の研修から、近年ではどんどんよい方向に変化してきていると実感しました。研修に参加していなければ制度の変化についていけないので毎回参加するよう心がけています。	未記入

令和元年度 弘前市市民後見人フォローアップ研修②

No	1.「成年被後見人等との意思疎通(実践的方法と演習)」	
	自己評価	感想等
1	よくわかった	意思疎通にはいろいろな方法があるとわかりました。
2	よくわかった	未記入
3	よくわかった	被後見人が失語症患者なので、大変参考になりました。
4	あまりわからなかった	わからないというよりも、難しかったです。
5	あまりわからなかった	未記入
6	よくわかった	特に3つの障害者(認知症、先天性知的障害、失語症)に対するコミュニケーションの回り方の説明もよかった。被後見人の立場で考えて、優しく、簡単に置き換えて伝えていくことが大切だとわかった。
7	だいたいわかった	コミュニケーションをとる際に、それを著しく阻害するのが認知症、先天性知的障害、失語症なのだとわかりました。資料はとでもわかりやすくできていてよかったです。今後コミュニケーションをとる際、今回で得たものを活用していきたいです。大変丁寧な講義でわかりやすかったです。
8	よくわかった	普段言語聴覚士の話を開ける機会がなかったので今回は聞いてよかったです。実際、被後見人とのコミュニケーションで役に立つとまではいかないですが。
9	よくわかった	文を短文に分解してわかりやすい形にすること、言葉での伝達は情報量が多いこと、ティッシュを使って本人が音を聞けるか確認することを知った。
10	よくわかった	わかりやすい講義で参考になりました。
11	だいたいわかった	演習を受講したことで、言葉の大切さをより感じた。
12	だいたいわかった	失語症患者は平仮名を認識し難く、コミュニケーションをとる際は、漢字の扱い方を配慮する必要がある等、新しい知識を吸収できました。新しいことを覚えるために、違った方面からの状況判断についても取り上げて欲しい。
13	よくわかった	文章を短文にすることが難しかった。でも研修で学んだことを日々の業務に活かせるようにしたいと思います。勉強になりました。
14	よくわかった	実際、先生の現場の具体的な方法について、参考になった。難しい文章をわかりやすく簡単にする技術がよかった。普段の生活にも活かせると感じた。
15	よくわかった	今回の研修で専門家の意見を聞くことが大切だとわかり、STの方と積極的に関わりたいと思いました。
16	だいたいわかった	未記入
17	あまりわからなかった	未記入
18	だいたいわかった	認知症と失語症のメカニズム等を含めて違い等がわかりやすかったです。ただ、白坂先生が仰ったように、脳の機能、精神科分野における疾患への取組み、対応については、人によって異なるのではないか、という印象があります。
19	だいたいわかった	わかりやすく伝えることに関して、改めて難しいと思った。

令和元年度 弘前市市民後見人フォローアップ研修②

No	2.事例検討	
	自己評価	感想等
1	よくわかった	具体的事例を出していただいたのでその対応についてよくわかりました。
2	だいたいわかった	未記入
3	だいたいわかった	未記入
4	だいたいわかった	未記入
5	未記入	未記入
6	だいたいわかった	言葉で伝えること、単語を1つ1つ区切ることで、単純化して会話する必要がある。文章を複雑化せず簡潔にし、相手の反応を見る。
7	だいたいわかった	様式シート等での説明で最新情報を把握でき、よい資料でした。
8	よくわかった	未記入
9	よくわかった	診断書と本人情報シートを一緒に提出することで、本人の容態が後見か保佐か、判断しやすくなったこと。
10	よくわかった	未記入
11	あまりわからなかった	後で資料を吟味しながら読みたいと思います。
12	だいたいわかった	意思決定能力について、本人に判断能力があるものの、本人の感情が強すぎて、本人が「家で生活したい」と希望した時等、チームで検討できるので安心しました。
13	だいたいわかった	未記入
14	よくわかった	診断書の作成についての話が参考になった。本人情報シートを初めて見た。家庭裁判所や医師の情報の繋がりを有効に利用したい。
15	よくわかった	本人情報シートが新しい資料として導入されたこと、意思決定支援のガイドライン、地域連携ネットワークの役割を知ることができました。今後実践でそれを活かしたいと思います。
16	未記入	未記入
17	あまりわからなかった	未記入
18	未記入	未記入
19	だいたいわかった	本人を支えることに関して、チームプレーにおいて、それぞれ役割を持ったり、情報を共有し合ったりする等、数年前の研修から、近年ではどんどんよい方向に変化していていると実感しました。研修に参加していなければ制度の変化についていけないので毎回参加するよう心がけたいです。

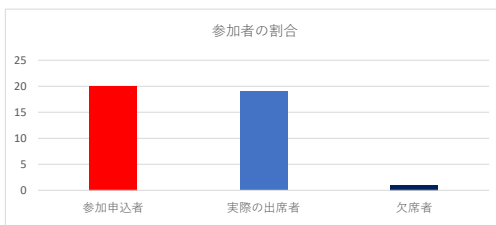
## 令和元年度 弘前市市民後見人フォローアップ研修②

No	3.研修全体について
1	研修の参加者が減少しつつあります。研修の内容を具体的に文章化して説明していただければ後見人の方も参加しやすいのではないかと思います。いつも研修会を開催していただき、ありがとうございます。
2	今までこういった研修を受けた経験がなかったので、大体理解できてよかったです。
3	具体的でよかった。
4	今回の研修は難しかったです。短く簡単な文で本人に話し掛けても、会話自体が不可能で理解してもらえない場合が多いので、勉強すればするほどに意思疎通の困難さを感じます。今後遠くない未来、本人に終末医療等の意思を確認する時、どうすべきか迷うところです。
5	研修資料も整っており、毎回ありがとうございます。法改正についてもその都度説明する必要があり、助かります。今後の課題として死後事務についても研修の無いように追加して欲しい。
6	定期的に研修を開催していただき、大変参考になります。支援センターを中心に、今後ともお世話になります。研修は同期生と顔を合わせる機会でもあり、大変よいと思います。また参加したいです。
7	最新情報はとてもありがたく思いました。
8	中身の濃い研修だったと思います。
9	定期的に研修を開催していただけるので、再認識できる内容が多くて助かります。
10	初めて知ることがたくさんありました。今後も、研修に参加して、勉強していきたいと思います。
11	地域連携ネットワークで、利用者の要望がわかるような形式にして欲しい。
12	コミュニケーションの取り方が複雑でした。
13	また参加したいです。

令和元年度 弘前市市民後見人フォローアップ研修② アンケート集計

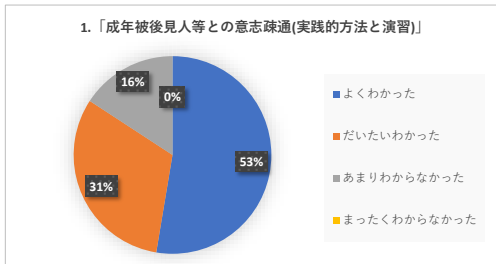
出席者	19
アンケート提出者	19
提出率	100.0%

参加者の割合	参加申込者	20
	実際の出席者	19
	欠席者	1



1. 「成年被後見人等との意思疎通(実践的方法と演習)」

	回答数	回答率
よくわかった	10	52.6%
だいたいわかった	6	31.6%
あまりわからなかった	3	15.8%
まったくわからなかった	0	0.0%
計	19	100.0%

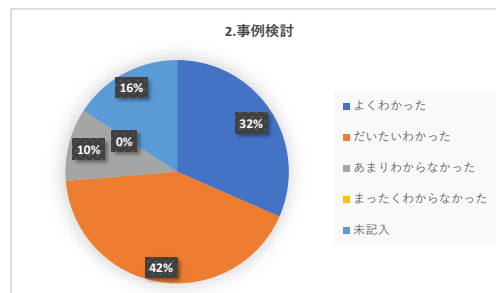


感想や意見等

意思疎通にはいろいろな方法があるとわかりました。
被後見人が失語症患者なので、大変参考になりました。
わからないというよりも、難しかったです。
特に3つの障害者(認知症、先天性知的障害、失語症)に対するコミュニケーションの図り方の説明もよかったです。被後見人の立場で考えて、優しく、簡単に置き換えて伝えていくことが大切だとわかった。
コミュニケーションをとる際に、それを著しく阻害するのが認知症、先天性知的障害、失語症なのだとわかりました。資料はとてもわかりやすくできていてよかったです。今後コミュニケーションをとる際、今回で得たものを活用していきたいです。大変丁寧な講義でわかりやすかったです。
普段言語聴覚士の話を聞ける機会がなかったので今回は聞いてよかったです。実際、被後見人とのコミュニケーションで役に立つとまではいきませんが。
文を短文に分解してわかりやすい形にすることで、言葉での伝達は情報量が多いこと、ティッシュを使って本人が音が聞けるか確認することを知った。
わかりやすい講義で参考になりました。
演習を受講したことで、言葉の大切さをより感じた。
失語症患者は平仮名を認識し難く、コミュニケーションをとる際は、漢字の扱い方を配慮する必要がある等、新しい知識を吸収できました。新しいことを覚えるために、違った方面からの状況判断についても取り上げて欲しい。
文章を短文にすることが難しかった。でも研修で学んだことを日々の業務に活かせるようにしたいと思います。勉強になりました。
実際、先生の現場の具体的な方法について、参考になった。難しい文章をわかりやすく簡単にする技術がよかったです。普段の生活にも活かせると感じた。
今回の研修で専門家の意見を聞くことが大切だとわかり、STの方と積極的に関わりたいと思いました。
認知症と失語症のメカニズム等を含めて違い等がわかりやすかったです。ただ、白坂先生が仰ったように、脳の機能、精神科分野における疾患への取り組み、対応については、人によって異なるのではないかと印象があります。
わかりやすく伝えることに関して、改めて難しいと思った。

2. 事例検討

	回答数	回答率
よくわかった	6	31.6%
だいたいわかった	8	42.1%
あまりわからなかった	2	10.5%
まったくわからなかった	0	0.0%
未記入	3	15.8%
計	19	100.0%



感想や意見等

具体的事例を出していただいたのでその対応についてよくわかりました。
言葉で伝えること、単語を1つ1つ区切ることで、単純化して会話する必要がある。文章を複雑化せず簡潔にし、相手の反応を見る。
様式シート等での説明で最新情報を把握でき、よい資料でした。
診断書と本人情報シートを一緒に提出することで、本人の容態が後見か保佐か、判断しやすくなったこと。
後で資料を吟味しながら読みたいと思います。
意思決定能力について、本人に判断能力があるものの、本人の感情が強すぎて、本人が「家で生活したい」と希望した時等、チームで検討できるので安心しました。
診断書の作成についての話が参考になった。本人情報シートを初めて見た。家庭裁判所や医師の情報の繋がりを有効に利用したい。
本人情報シートが新しい資料として導入されたこと、意思決定支援のガイドライン、地域連携ネットワークの役割を知ることができました。今後実践でそれを活かしたいと思います。
本人を支えることに関して、チームプレーにおいて、それぞれ役割を持ち、情報を共有し合ったりする等、数年前の研修から、近年ではどんどんよい方向に変化してきていると実感しました。研修に参加していなければ制度の変化についていけないので毎回参加するよう心がけたいです。

3. 研修全体についての感想や意見等

研修の参加者が減少しつつあります。研修の内容を具体的に文章化して説明していただければ後見人の方も参加しやすいのではないかと思います。いつも研修会を開催していただき、ありがとうございます。
今までこういった研修を受けた経験がなかったので、大体理解できてよかったです。
具体的でよかったです。
今回の研修は難しかったです。短く簡単な文で本人に話し掛けても、会話自体が不可能で理解してもらえない場合が多いので、勉強すればするほどに意思疎通の困難さを感じます。今後遠くない未来、本人に終末医療等の意思を確認する時、どうすべきか迷うところです。
研修資料も整っており、毎回ありがとうございます。法改正についてもその都度説明する必要があり、助かります。今後の課題として死後事務についても研修の無いように追加して欲しい。
定期的に研修を開催していただき、大変参考になります。支援センターを中心に、今後ともお世話になります。研修は同期生と顔を合わせる機会でもあり、大変よいと思います。また参加したいです。
最新情報はとてもありがたいと思います。
中身の濃い研修だったと思います。
定期的に研修を開催していただけるので、再認識できる内容が多くて助かります。
初めて知ることがたくさんありました。今後も、研修に参加して、勉強していきたいと思えます。
地域連携ネットワークで、利用者の要望がわかるような形式にして欲しい。
コミュニケーションの取り方が複雑でした。
また参加したいです。